



## ゼロカーボンシティ宣言

～人と自然が共生できる環境づくりを目指して～

近年、地球温暖化が原因とみられる異常気象の発生により、世界規模で深刻な自然災害が発生しています。国内でも集中豪雨や台風などによる被害が各地で発生しており、本市においても、令和元年の房総半島台風では、長期間の停電や多くの家屋の損壊など、市民生活や経済活動に大きな被害を受けました。

二酸化炭素をはじめとした温室効果ガスの増加による地球温暖化の進行に伴い、更なる災害や生態系への影響が強く懸念され、IPCC（国連の気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書においては、「気温上昇を2℃よりリスクの低い1.5℃に抑えるためには、2050年まで二酸化炭素の排出量実質ゼロとすることが必要」とされています。

本市においても、豊かで多様な自然に恵まれている自然環境を未来につないでいくため、市総合計画の環境に係る基本方針に掲げる「人と自然が共生できる環境づくり」の実現に向け、省エネルギー対策、再生可能エネルギーの普及促進などの地球温暖化対策を推進し、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指すことを宣言します。

令和3年8月31日

南房総市長

石井 裕